平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月31日

上場会社名　株式会社Paltac　　上場取引所　東 大
コード番号　8283　URL　http://www.paltac.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 折目　光司
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 副本部長　(氏名) 嶋田　政治　TEL 06-4793-1090

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	605,238	2.5	7,600	1.2	11,710	3.3	7,154	60.5
24年3月期第3四半期	590,202	1.2	7,507	30.1	11,338	17.4	4,458	△15.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	126.90	―
24年3月期第3四半期	79.83	―

(注)平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を記載しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	316,069	123,273	39.0	1,939.75
24年3月期	292,969	111,421	38.0	1,994.96

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　123,273百万円　24年3月期　111,421百万円

(注)平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	20.00	―	20.00	40.00
25年3月期	―	20.00	―		
25年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	785,000	2.5	9,300	5.4	14,800	5.6	8,800	42.9	151.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	63,553,485 株	24年3月期	55,853,485 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,508 株	24年3月期	1,908 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	56,384,767 株	24年3月期3Q	55,853,326 株

(注)当社は、平成24年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
４．補足情報 …… 9
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などの影響に伴い、緩やかな持ち直し傾向がみられるものの、欧州政府債務危機を巡る金融資本市場の変動や世界経済の減速などを背景として、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、所得環境の低迷を背景とした節約志向が続く中、企業間競争の激化などにより厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は「美と健康」に関わる生活必需品をフルラインで全国に販売する中間流通業として、高品質・ローコストのロジスティクス機能、取引先の効果的な品揃えや販売活動を支援するマーチャンダイジング機能及びストアソリューション機能の強化を図り、サプライチェーン全体の効率化を目指した取組みを行いました。

併せて、主要物流センター及び本社に非常用自家発電装置の設置が完了し、大規模災害や電力不足などのリスクに備えてＢＣＰ（事業継続計画）を強化するなど、取引先により安心いただける企業基盤の整備に努めてまいりました。

また、出荷能力の増強とサプライチェーン全体の効率化を目的として、平成24年12月に最新鋭の大型物流センター「ＲＤＣ中部」（愛知県春日井市）が稼動したほか、東北及び北陸地区において物流センターの建設に着手するなど、事業基盤の強化・拡充を図りました。

なお、「ＲＤＣ中部」建設に伴う設備投資資金等の調達を目的として、平成24年12月に公募及び第三者割当増資による新株式（普通株式　7,700,000株）の発行を行いました。

これらの結果、当第３四半期累計期間の売上高は6,052億38百万円（前年同期比2.5％増）、営業利益は76億円（前年同期比1.2％増）、経常利益は117億10百万円（前年同期比3.3％増）、四半期純利益は71億54百万円（前年同期比60.5％増）となりました。

当第３四半期累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。

卸売事業

卸売事業は、前年の震災特需の反動による生活必需品の需要減少があったものの、取引先との取組強化によりインストアシェアの拡大を推進したほか、冬物の季節商材等が好調に推移したこと等により売上高は堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は5,962億84百万円（前年同期比2.6％増）、営業利益は83億39百万円（前年同期比0.6％増）となりました。

物流受託事業

物流受託事業は、イニシャルコスト等の負担があったものの、既存ＲＤＣを活用した新たな物流受託サービスの売上が寄与したほか、既存受託先の安定した事業展開等により売上高は堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は89億53百万円（前年同期比1.3％減）、営業利益は10億20百万円（前年同期比23.9％減）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて231億円増加し、3,160億69百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が128億87百万円、商品及び製品が111億93百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて112億48百万円増加し、1,927億96百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が147億45百万円、未払法人税等が25億23百万円増加したことや、短期借入金が36億97百万円、長期借入金が22億70百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて118億51百万円増加し、1,232億73百万円となりました。これは主に、資本金が33億86百万円、資本剰余金が33億86百万円、利益剰余金が49億20百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末より44億90百万円減少し、169億61百万円となりました。

当第３四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は45億58百万円（前年同期比44億58百万円の増加）となりました。これは主に、税引前四半期純利益117億16百万円、減価償却費35億17百万円、売上債権の増加額128億87百万円、たな卸資産の増加額111億93百万円、仕入債務の増加額152億15百万円、未払消費税等の減少額13億75百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は71億95百万円（前年同期比55億６百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出79億81百万円、有形固定資産の売却による収入15億74百万円、無形固定資産の取得による支出３億56百万円、投資有価証券の取得による支出４億83百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は18億53百万円（前年同期は60百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純減少36億97百万円、長期借入金の返済による支出25億81百万円、株式の発行による収入67億30百万円、配当金の支払額22億27百万円によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の業績予想につきましては、平成24年５月11日公表の予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第３四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,452	16,961
受取手形及び売掛金	132,054	144,941
商品及び製品	37,114	48,308
その他	16,973	15,819
貸倒引当金	△74	△56
流動資産合計	207,520	225,973
固定資産		
有形固定資産		
土地	36,016	36,387
その他（純額）	39,379	43,055
有形固定資産合計	75,396	79,442
無形固定資産	539	752
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,535	9,959
貸倒引当金	△22	△59
投資その他の資産合計	9,512	9,900
固定資産合計	85,448	90,095
資産合計	292,969	316,069
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,285	133,031
短期借入金	29,799	26,102
1年内返済予定の長期借入金	3,400	3,089
未払法人税等	296	2,819
賞与引当金	1,702	810
返品調整引当金	262	315
その他	13,999	14,682
流動負債合計	167,746	180,850
固定負債		
長期借入金	9,630	7,360
退職給付引当金	1,865	1,953
その他	2,305	2,632
固定負債合計	13,801	11,946
負債合計	181,547	192,796

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,482	15,869
資本剰余金	24,440	27,827
利益剰余金	73,384	78,305
自己株式	△1	△2
株主資本合計	110,305	121,999
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,115	1,270
繰延ヘッジ損益	0	2
評価・換算差額等合計	1,116	1,273
純資産合計	111,421	123,273
負債純資産合計	292,969	316,069

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	590,202	605,238
売上原価	527,351	542,162
売上総利益	62,851	63,075
販売費及び一般管理費	55,344	55,475
営業利益	7,507	7,600
営業外収益		
受取配当金	152	175
仕入割引	2,791	2,950
情報提供料収入	876	910
その他	346	389
営業外収益合計	4,166	4,425
営業外費用		
支払利息	292	260
その他	42	54
営業外費用合計	335	315
経常利益	11,338	11,710
特別利益		
固定資産売却益	233	280
受取保険金	2,372	－
罹災商品補填額	1,119	－
その他	－	24
特別利益合計	3,725	304
特別損失		
固定資産売却損	158	3
固定資産除却損	116	80
減損損失	906	－
特別退職金	5,827	－
地中障害物撤去損失	－	148
その他	11	66
特別損失合計	7,021	298
税引前四半期純利益	8,042	11,716
法人税、住民税及び事業税	730	3,937
法人税等調整額	2,853	625
法人税等合計	3,583	4,562
四半期純利益	4,458	7,154

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	8,042	11,716
減価償却費	3,680	3,517
減損損失	906	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	66	18
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,155	△892
返品調整引当金の増減額（△は減少）	44	52
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△363	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△178	210
受取利息及び受取配当金	△152	△175
支払利息	292	260
固定資産売却損益（△は益）	△74	△277
固定資産除却損	116	80
受取保険金	△2,372	－
特別退職金	5,827	－
売上債権の増減額（△は増加）	△7,074	△12,887
たな卸資産の増減額（△は増加）	△5,354	△11,193
仕入債務の増減額（△は減少）	3,999	15,215
未収消費税等の増減額（△は増加）	285	△594
未払消費税等の増減額（△は減少）	851	△1,375
その他	600	2,337
小計	7,989	6,015
利息及び配当金の受取額	152	175
利息の支払額	△276	△245
法人税等の支払額	△4,309	△1,386
特別退職金の支払額	△5,827	－
保険金の受取額	2,372	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	100	4,558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,265	△7,981
有形固定資産の売却による収入	1,531	1,574
無形固定資産の取得による支出	△186	△356
投資有価証券の取得による支出	△462	△483
投資有価証券の売却による収入	1	115
敷金及び保証金の回収による収入	891	89
その他	△197	△154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,688	△7,195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△4,544	△3,697
長期借入れによる収入	8,000	－
長期借入金の返済による支出	△1,795	△2,581
リース債務の返済による支出	△117	△76
株式の発行による収入	－	6,730
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,483	△2,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	60	△1,853
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,528	△4,490
現金及び現金同等物の期首残高	18,368	21,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,840	16,961

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年12月11日付で公募による新株式の発行を行い、払込みを受けました。また平成24年12月26日付で、野村證券株式会社を割当先としてオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式の発行を行い、払込みを受けました。この結果、当第３四半期累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ33億86百万円増加し、当第３四半期会計期間末において、資本金が158億69百万円、資本剰余金が278億27百万円となっております。

４．補足情報

（１）生産、受注及び販売の状況

（販売実績）

①当第３四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	商品分類別の名称	当第３四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日） 金額（百万円）	前年同四半期比（％）
卸売事業	化粧品	146,311	99.7
	日用品	254,236	102.9
	医薬品	100,113	104.9
	健康・衛生関連品	93,429	104.4
	その他	2,194	95.9
	卸売事業売上高　計	596,284	102.6
物流受託事業	物流受託事業売上高	8,953	98.7
合計		605,238	102.5

（注）１．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
２．第１四半期累計期間より一部商品の区分を変更しております。なお、前年同四半期比については、前第３四半期累計期間を変更後の区分に組み替えて算定しております。

②当第３四半期累計期間における卸売事業の販売実績を販売先業態別に示すと、次のとおりであります。

販売先業態別の名称		当第３四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日） 金額（百万円）	前年同四半期比（％）
Drug	ドラッグストア	357,343	102.9
HC	ホームセンター	68,870	97.4
CVS	コンビニエンスストア	46,245	102.7
SM、SSM	スーパーマーケット、スーパースーパーマーケット	43,317	102.1
GMS	ゼネラルマーチャンダイジングストア	41,305	101.1
DS、Su．C	ディスカウントストア、スーパーセンター	21,832	127.2
その他	輸出、その他	17,370	98.7
卸売事業売上高　計		596,284	102.6

（注）１．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
２．第１四半期累計期間より一部販売先業態の区分を変更しております。なお、前年同四半期比については、前第３四半期累計期間を変更後の区分に組み替えて算定しております。